

2024年10月29日

COP29直前ウェビナーシリーズ 第3回
「強化された透明性枠組（ETF）と隔年透明性報告書（BTR）解説」

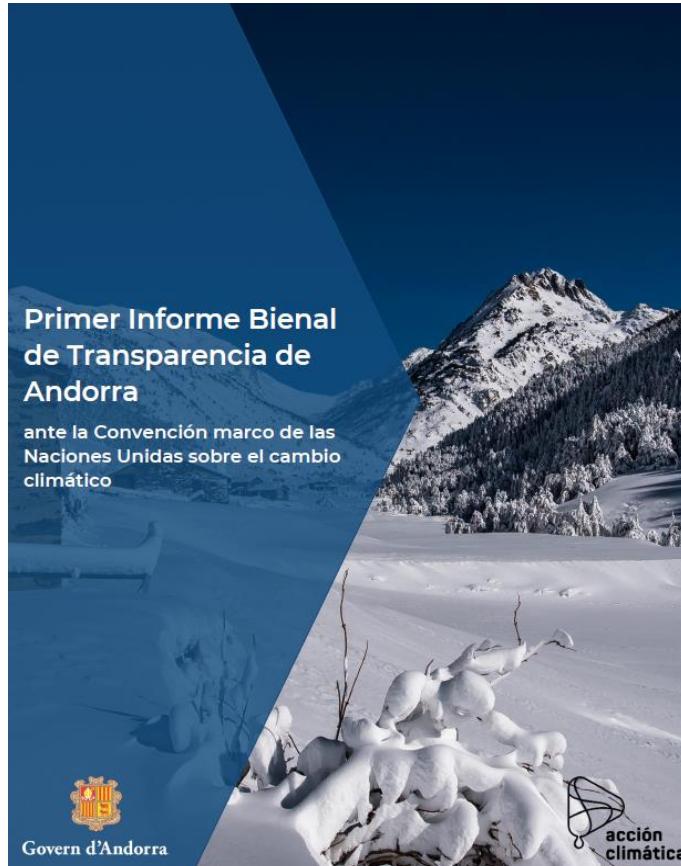
強化された透明性枠組み（ETF）の解説

気候変動とエネルギー/生物多様性と森林領域
リサーチマネージャー

梅宮 知佐

COP29の注目一つは、第1回隔年透明性報告書（BTR1）の提出

- BTRは『強化された透明性枠組み（ETF）』で定められ、
- 各国が2年ごと*に自国の定める目標（NDC）に向けた進捗状況を報告する
- 既に実施段階にあり、各国は第1回BTR（BTR1）作成中
- BTR1の提出締切は、2024年末



アンドラ・ガイアナ・パナマが
自主的にBTR1早期提出

COP29議長国による透明性に関するイニシアティブ/ Baku Global Climate Transparency Platform(2024年9月)



UNFCCC事務局による透明性能力強化に関する活動/ #Together4Transparency



本日お伝えしたいこと

1. 透明性枠組みの役割り

2. 透明性枠組みの内容とその特徴

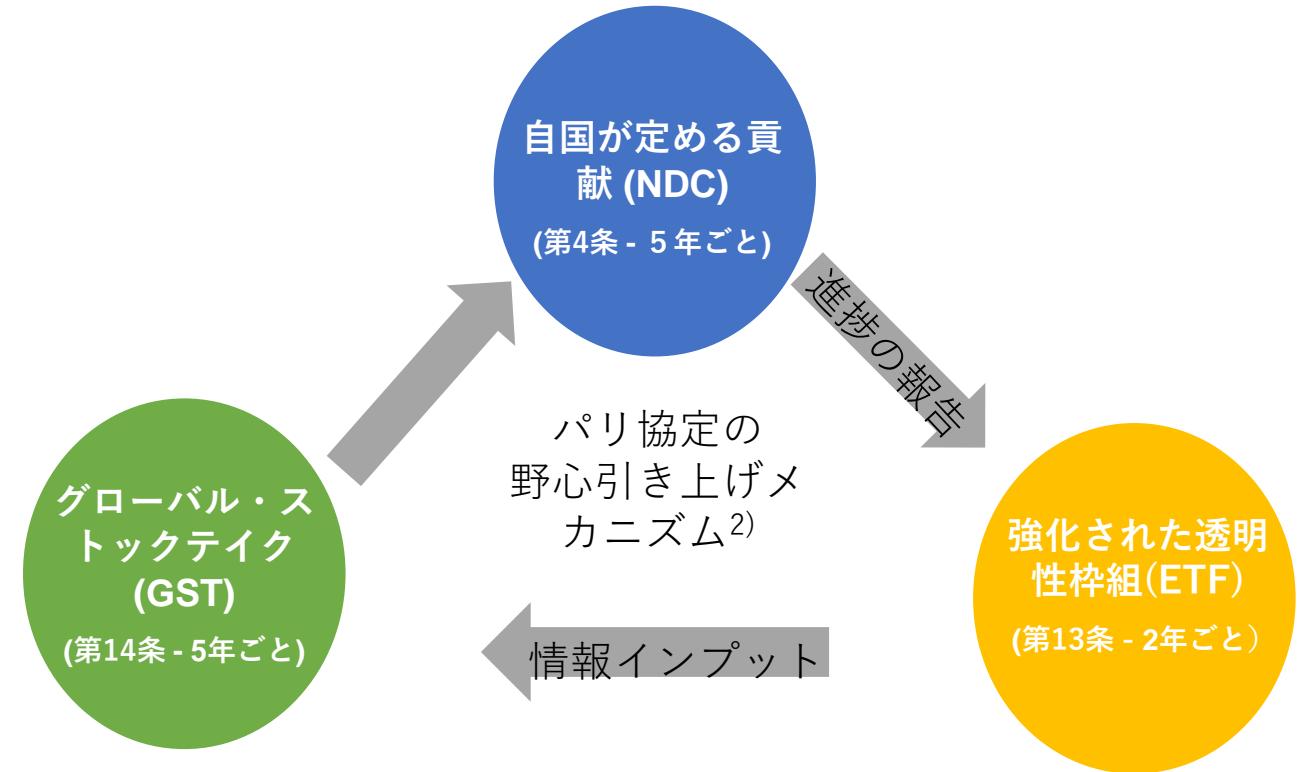
3. COP29での注目点と今後への期待



アゼルバイジャン・バクーの街の様子（撮影：IGES梅宮）

透明性枠組みの役割り：
各国が気候目標・行動（NDC）と支援
の進捗状況を明らかにすることで、国
家間の相互信頼を確立する

「約束したことをきちんとやっていま
すよね？」と互いに確認する

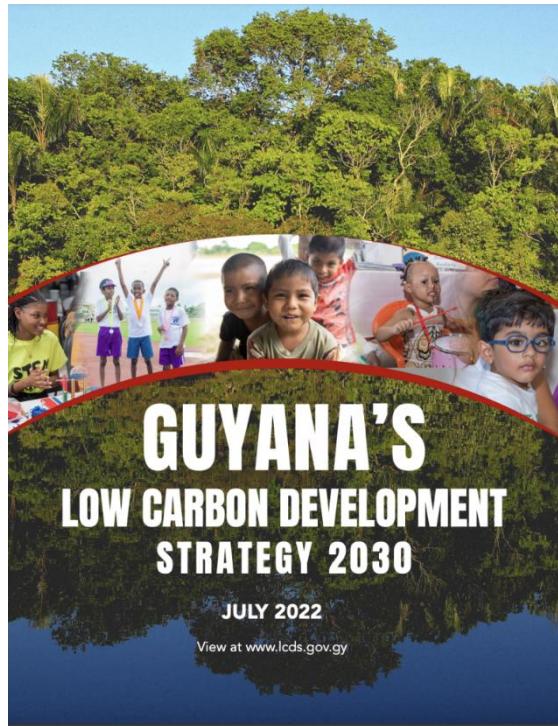


1)パリ協定 (2015) 13条1項

2)津久井「第1回GST国際交渉の解説」発表資料 (2023) を加工 (図)

透明性枠組みの役割り 2： 取りまとめられる情報は、広く気候行動を進める企業等にも活用され得る

例えば、



事例 1：カーボンクレジットの国際移転に伴う相当調整

ガイアナ政府¹⁾は
CORSIA²⁾向けに相当調整
³⁾済みクレジットを発行

事例 2：サプライ
チェーンの排出量算定

原料調達国の森林セ
クターの排出量、排
出係数はいくらか？



1) [Guyana Announces World's First Credits Eligible for Use by Airlines in First Phase of CORSIA](#) (2024年2月)

2) 「国際民間航空のためのカーボン・オフセットおよび削減スキーム」略称。参考資料は、例えば、[IGES田口](#)など。

3) 削減量の二重計上を防止するための措置。クレジットを獲得した国が自国の排出量からクレジット量を減算し、クレジットを移転した国が自国の排出量にクレジット量を加算することである。参考資料は、例えば、[IGES高橋](#)など。

透明性枠組みの内容：「BTR報告」「審査」「多国間検討」の3要素から成る 1サイクルに約2年を要する

約12か月

①BTRの作成・報告

気候目標・行動（NDC）と支援の進捗状況に関する情報の報告

BTR

ガイアナの
BTRは540
ページ！



約8か月

②技術専門家審査

実施ガイドライン*との一貫性等の審査



BTR
審査報告書

信頼の醸成



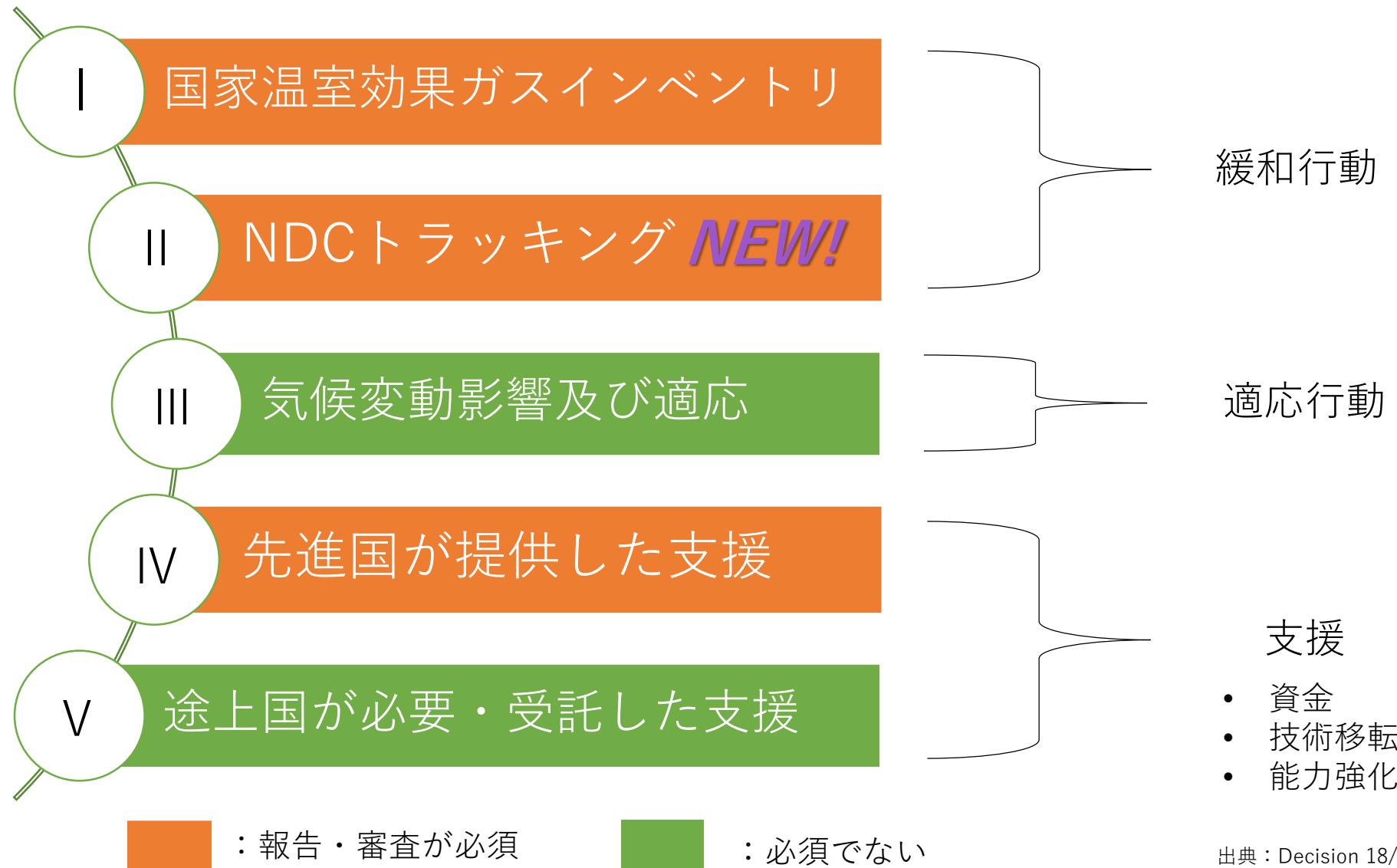
実施原則は、国家主権の尊重・非懲罰・段階的な質**の向上等

*Decision 18/CMA.1（透明性枠組み実施のためのモダリティ・手順・ガイドライン）。

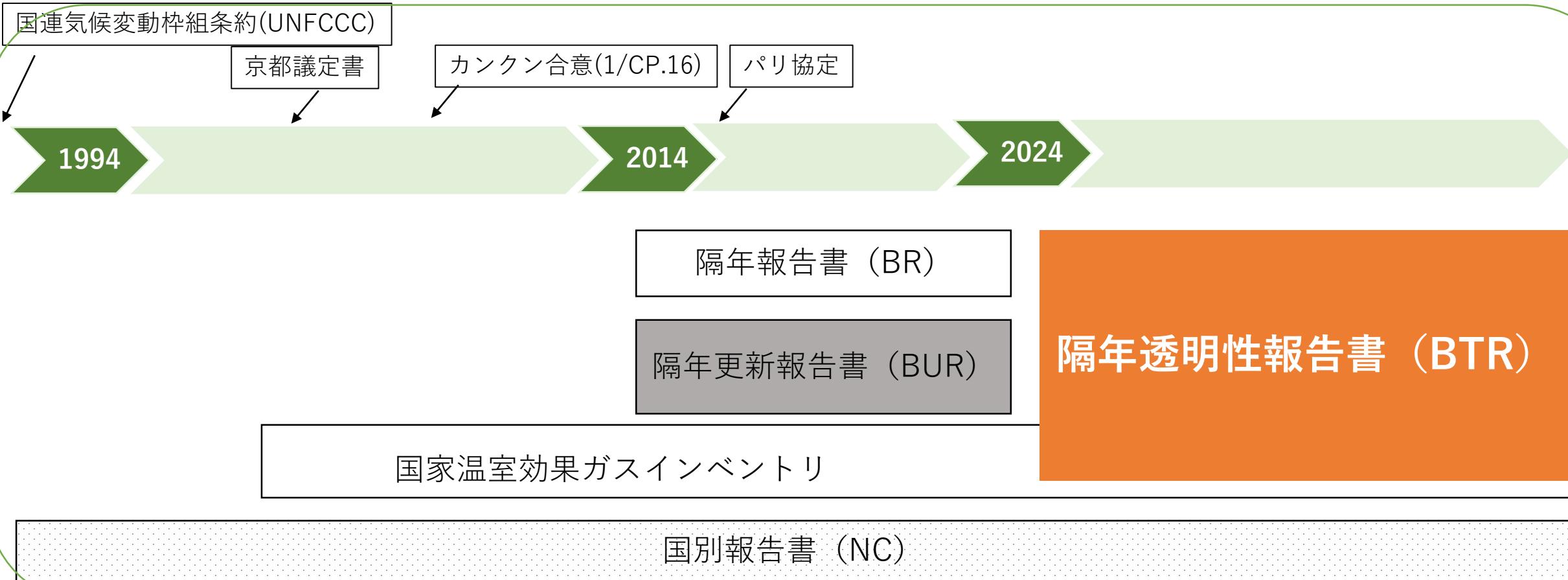
**透明性、正確性、完全性、一貫性、比較可能性のこと。

出典：Decision 18/CMA.1、[UNFCCC Reference Manual](#)を基に作成

BTRの内容：報告必須は、「NDCの緩和」と「先進国による支援」 途上国にとっては、「適応」と「必要とする支援」も重要



特徴1：世界で初めて途上国・先進国で共通のガイドライン採用 国家間でより比較可能、世界全体で進捗を測れるように



[White box]: 先進国と途上国でガイドライン別

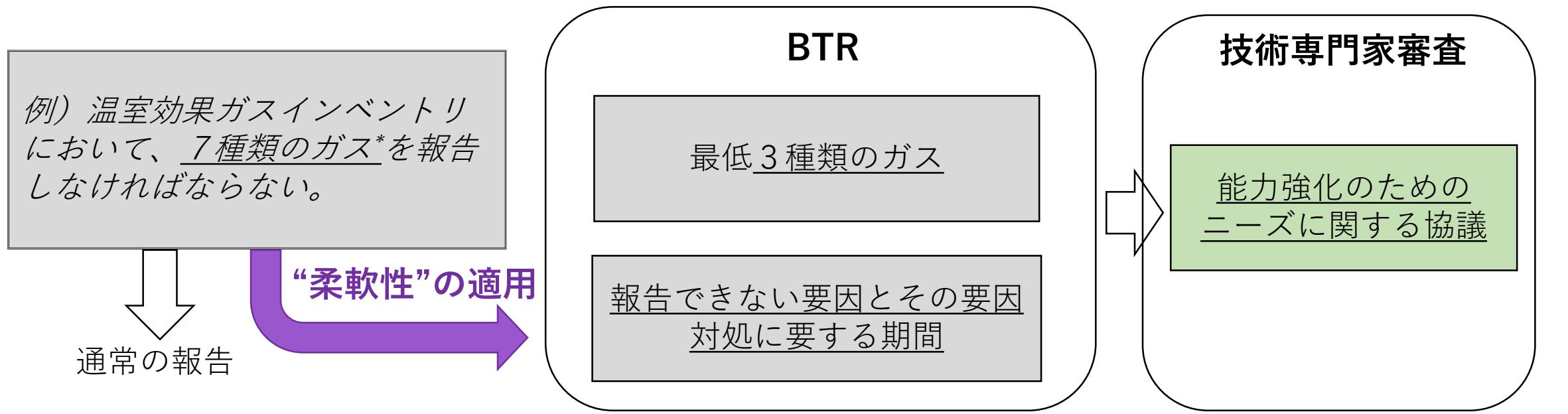
[White box]: 先進国のみ報告

[Grey box]: 途上国のみ報告

[Orange box]: 全ての国、共通のガイドライン

特徴 2：途上国の課題に対応するため、“柔軟性”を盛り込む

課題：154カ国ある途上国のうち、約半数が国際的な報告に要する能力が未だ十分でない¹⁾



参照：Decision 18/CMA.1を基に作成

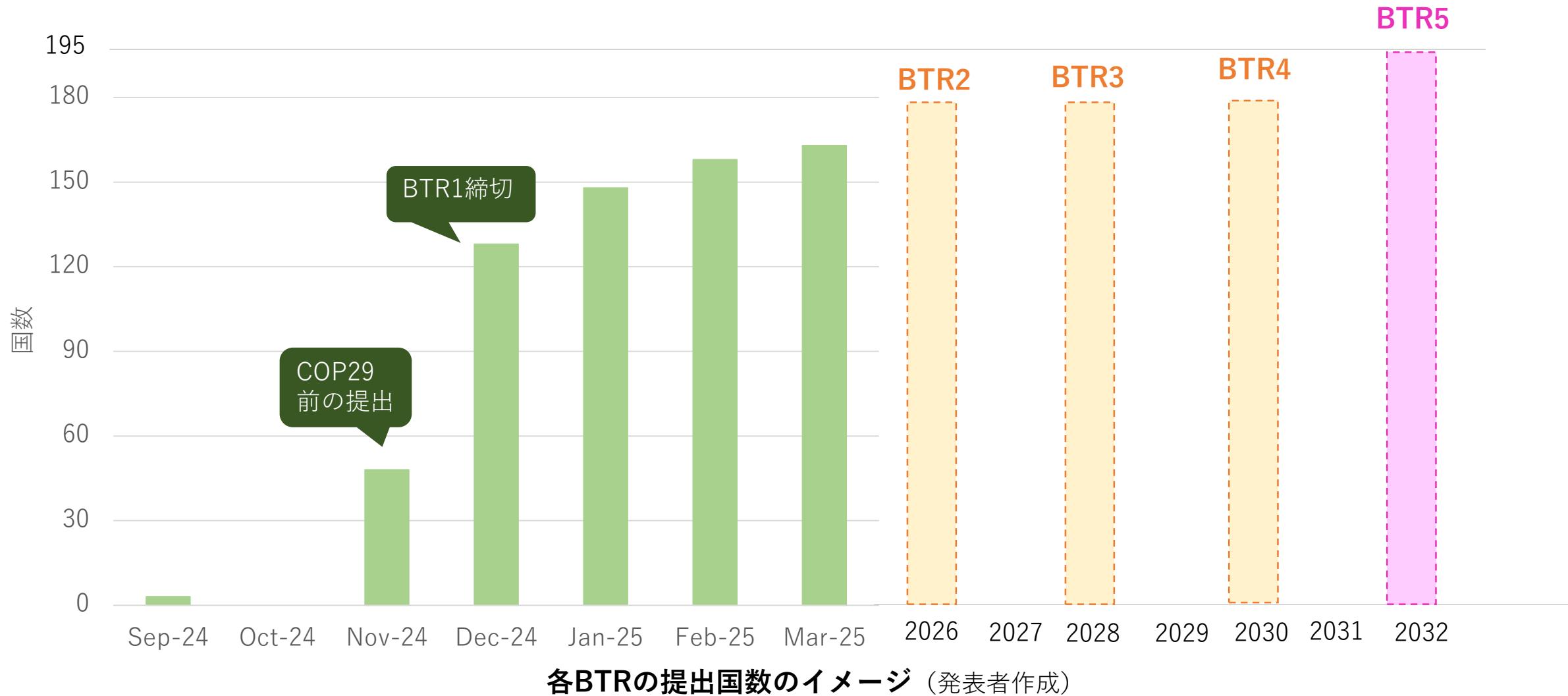
柔軟性と共に、報告のインセンティブが重要（例：カーボンクレジットに情報が活用される）

1) Umemiya, C (2023) In Climate Policy: 途上国の直面する課題として、専門的知識を有する人材不足、組織体制や予算不足、基礎的な統計データや科学的知見、政治的コミットメントの欠如等がある。

*CO₂, methane (CH₄), nitrous oxide (N₂O), hydrofluorocarbons (HFCs), perfluorocarbons (PFCs), sulfur hexafluoride (SF₆) and nitrogen trifluoride (NF₃)

**CO₂, CH₄ and N₂O

COP29では、特に、途上国のBTR1提出状況が注目
ただし、相互信頼の醸成には、何より継続的な実施・改善が必要



1) アゼルバイジャン政府の呼びかけに応じ、[COP29前の提出を宣言](#)：日本、ブラジル、ジョージア、ドイツ、カザフスタン、キルギスタン、トルコ、アメリカ、ウズベキスタン

まとめ

- 透明性枠組みは、各国の気候行動（NDC）と支援の実施状況を明らかにすることで、**国家間の相互信頼の確立**を目指す。
- COP29では、**途上国によるBTR1の提出状況**が注目される。年末の**提出締切前の最後の一押し**という意味合いも大きい。
- 継続的な実施には、情報の活用が**インセンティブ**となる。
 - カーボンクレジット
 - 適応
 - 必要とする資金支援、技術協力など



[IGES透明性ウェブサイト](#)

ご清聴ありがとうございました。

気候変動とエネルギー/生物多様性と森林領域
リサーチマネージャー
梅宮 知佐

IGES Institute for Global Environmental Strategies
公益財団法人 地球環境戦略研究機関